

外人コースの思い出

鈴木由之助

先日探し物があって、2階の押し入れの戸を開けたら、古い段ボール箱が目についた。

開けてみたら、なんと外人コースを担当してた頃の写真やパンフレット、などが出てきました。

私は入社2年目の春(1962年：昭和37年入社)運転手の班編成で外人コース担当の1人になりました。

外人コースは、モーニングコース・アフタヌーンコース・ワンデイコース・夜のゴールデンナイト・シルバーナイトなどが主なコースでした。

ある日ワンデイコースを担当した時のことです、お客さまはアメリカから来たご夫妻だけの、たった2人での運行でした。

丸の内北口のガード下に、外人課の事務所があって、そこを出発。

外人ガイドさんは田中イサ子さん。最初に皇居の汐見櫓前で記念写真を撮り、コースが始まります。東京観光写真の、佐伯カメラマンが待っていてくれました。毎日のことなので名前も覚えました。写真の後は東御苑を1時間ほど散策、その後は、バスは靖国神社で下車。飯田橋、江戸川橋を通り昼食の椿山荘へ。椿山荘ではバーベキューの昼食で、お客様に大変好評だったそうです。

そして食事の後は、素晴らしい庭園を見てもらったそうです。椿山荘を出発して、浅草へ向かいます。江戸川橋、大曲まで戻って、伝通院前を通り、春日町講道館前、湯島天神、東京大学南門を通過、上野松坂屋を左折、上野広小路上、上野駅前を通り浅草の仏具街、そして浅草の国際劇場へ。国際劇場の松竹歌劇団のショーは、このコースの目玉で大好評でした。中でもフィナーレのラインダンスは素晴らしいものでした。お客様はワンダフル！！と言って帰ってきたものです。国際劇場の後は、浅草橋人形問屋街、日本橋呉服問屋街を通り、丸の内へ。お客様は丸の内ホテル宿泊でしたのでそこで終了です。降りる時に「今日はとても楽しかった。乗務員さん丸ノ内ホテルに来てくれ」と言われました。品川の車庫へ入庫後、丸の内ホテルへ行くと、外人ガイドの田中さんと、お客がロビーで待っていてくれました。お客様は正装して待っていてくれました。タクシーで新橋へ。神戸ステーキと言う店へ行きました。店内は薄い光で高級感あふれている感じでした。最初にシャンパンをいただいたと思います。お客様とガイドさんは、楽しそうに話をしていましたが、私は全然わからない英語を聞いているだけでした。そのうちに見たこともない、分厚いステーキが運ばれてきて、ガイドさんに、ナイフの使い方を教えてもらいながら、時間を過ごしました。いろいろ話を聞いて、お客様はハリウッドの映画スターの、フレッド・クレーンと言う人だとわかりました。＜風と共に去りぬ＞と言う映画の脇役だったけど、出演していた俳優さんだったのです。とにかく日本で言う、色男でした。丸ノ内ホテルに帰ってからも、楽しい時間を共に過ごして、いい思い出です。アメリカに帰ってから、何度かお手紙をくれまして、ガイドさんに訳してもらった思い出があります。あの時の記念写真が今回出てきて、あの日のことが鮮明に思い出されたので、書いてみました。

終わり

参考

フレッド・クレーン (Fred Crane) は、アメリカの映画、テレビ俳優、ラジオアナウンサーです。

彼は、1939年の映画『風と共に去りぬ』でブレント・タールトン役を演じ、映画の冒頭のセリフを話したことで最もよく知られています。

彼は他にもいくつかの映画やテレビ番組に出演しています。主な出演作には、『風と共に去りぬ』のほか、テレビシリーズ『宇宙家族ロビンソン』や『原子力潜水艦シービュー号』などがあります。

彼は2008年8月21日に90歳で亡くなりました。